

大日本車夫總同盟趣旨綱領及事業

一 趣 旨

今や世界改造の新時代に當り特に我國交通機關の改善は刻下の急務たることを懸念せずして明かなれば、その交通改善の限はるゝ半面に於て鐵道、電車、自動車の發達は終に人力車を以て時代表の乗りもの如く認識し而も其抱したる車夫を職業者として輕視するに非れり。然れども我國交通上最も安全と輕便を兼ねる乗りものとして常用されつゝあるは人力車を以て第一とせざる可からず。殊に人力車が交通機關に貢獻せる功果の偉大なると共に之に従業する車夫も亦た乘人の生命と財産を保護して安全に運送にその責任を果しつゝ眞に職業上自強力行を主とし我等の社會的地位が他の職業よりも劣等の對遇を蒙る理由なき筈なり。然るに車夫馬丁と云へば別で無類の住の如く見做され差別の對遇の下に呻吟するに至れるは是れ全く職業の貴賤に由る非やして従業我等車夫の多數が惡感を生じ、家庭の言行多く、職業的自覺なく、階級的意識に至しく原綴の生活に順致されし結果、社會的指導を享け難者となせられしこと。思想は、我等は雖然この自由で解放を欲する改造の如世に際し、大に覺醒して、その智徳を修養し人格の向上生活の改善を圖る爲め自治的團結を固め、相互扶助の精神を備へて耐勞其分の地理に依る合法的運動を起して立國の大業を實現するは是れ即ち改造の新氣運に協する我等が當然の任務たるべし。仍て茲に大日本車夫總同盟を組織し我等の天職を完うせんとする所以なり以て同盟團結の趣旨とす。

一 綱 領

- 一、皇室を奉戴し義勇奉公の大義を宣揚すべし
- 一、智徳を修養し自強力行の美風を振起すべし
- 一、團結を確保し相互扶助の精神を擴充すべし